

第3章 家計も食事もバランスが大事～家計のマネジメント

映像の流れとポイント

チャプター	時間	映像の流れ	映像の背景とポイント
① ミニ ドラマ	3:39	 高級プリンを食べながら、社会人になった自分を想像する真由。 マスコットのパビ君が動き出し、「未来の真由の姿」を見せる。	
		 8年後、社会人になった真由は、一人暮らしをしている。奨学金の返済もあり、「貯蓄したくてもできない派」だと言う。 パビ君に、収支バランスを上手にコントロールできていないことを指摘される真由。	約半数の大学生が奨学金を利用しています。
② 解説	2:55	 フリップ1 「収入と支出の構成」	収入には限りがあるため、消費支出は「必要なもの=ニーズ」と「欲しいもの=ウォンツ」を意識することが大切です。 解説1 収入と「使えるお金」の関係
		 フリップ2 「25歳の真由の給与明細」	給与明細には、①勤怠②支給③控除が記載されています。 解説2 給与明細の見方
		 フリップ3 「25歳の真由の1ヶ月間の支出」	消費支出の配分は、各人のライフスタイルに合わせて決定します。定期的な見直しが必要です。 解説3 家計の収支の見直し方
		 海外留学 将来の人生設計を考える真由。 パビ君から、どんな人生を選んでも、まとまった資金が必要になる場合に備えておく必要があると指摘される。	奨学金は進学のための大切な制度ですが、借りる前に必要額と、卒業後の返還額のシミュレーションを行うことが重要です。 解説4 奨学金の種類と返還方法
		 フリップ4 「リスクへの備え」	住宅費用と老後の生活費用は、誰もが必要な費用です。ライフプランに合わせて、進学・結婚・出産・教育資金などが必要になる場合があります。 突然の病気・ケガ・失業・収入低下に備えるためには、日頃のリスク管理が大切です。 解説5 リスク管理をしよう
③ まとめ	0:54	 テロップ 「家計管理のポイント」	<ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出のバランスを取る。 ・実現したい人生プランに向けて、資金を準備する。 ・万が一のリスクに対する備えをする。

解説1 収入と「使えるお金」の関係

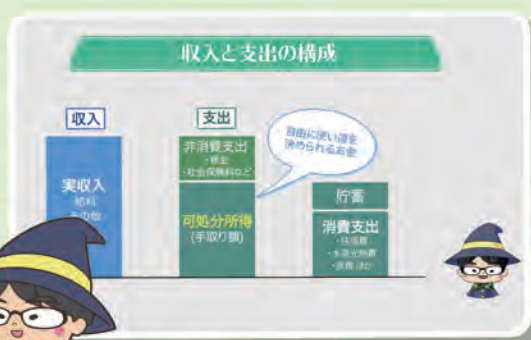
家計の外から新たに入ってくるお金「実収入」から、所得税などの税金や社会保険料などの「非消費支出」を引いた残りの「可処分所得」(手取り額)の範囲内で、毎月のやりくりをする必要があります。

この「可処分所得」(手取り額)の中から、将来のための「貯蓄」をした残りが、日々の生活に使う「消費支出」です。「消費支出」の後に、残ったお金を「貯蓄」と考えると、なかなかお金が貯まらないため、「先取り貯蓄」で、計画的にお金を蓄えていくことがポイントです。

$$\text{可処分所得} - \text{貯蓄} = \text{消費支出} (= \text{使えるお金})$$

収入には限りがあるため、毎月の予算配分をきちんと行い、家計を管理していくことが大切です。何にどのくらいお金を配分するのか、優先順位を考えて収支のバランスをはかる必要があります。

優先順位を考える際には、「必要なもの」(ニーズ)と「欲しいもの」(ウォンツ)に分けて考え、「必要なもの」を優先していきます。一度、手にした「欲しいもの」が「必要なもの」となっていないか、よく検討することも大切です。



解説2 給与明細の見方

勤務先から渡される給与明細には、さまざまな情報が記載されています。給与明細の記載内容は会社によってさまざまですが、大きく分けると、勤怠(該当月の勤務日数や、残業時間など)、支給(勤務先から支払われる金額の明細)、控除(給与から天引きされる金額の明細)の3つのカテゴリーに分かれています。

直接的に手取り額に関わる、「支給」と「控除」について、詳しく見てみましょう。

給与明細の例

(※数字は参考値)

	基本給		各種手当								支給額計							
	会社から支払われるベースの支給額		「扶養手当」「住宅手当」「通勤手当」など、各社で名称や内容、計算方法などが規定されている。															
支給	基本給	228,000	扶養手当	0	住宅手当	12,500	通勤手当	6ヶ月毎に支給	資格手当	10,000	残業手当	20,500			271,000	会社側が支払う総額		
控除	雇用保険料	820	健康保険料	11,580	厚生年金保険料	24,190	介護保険料	0	所得税	5,560	住民税	13,850	団体保険	3,000	組合費		2,000	61,000
	雇用保険	失業したときに失業給付金を受給するための保険。自己負担分が差し引かれる。	社会保険料	「健康保険料」…病気や怪我の治療費の自己負担額を軽くするための保険。自己負担分が引かれる。 「厚生年金保険料」…年金を受給するために支払う掛け金。自己負担分が引かれる。 「介護保険料」…介護を受けるときのために支払う掛け金。40~64歳の全国民に支払い義務がある。			所得税	個人の所得(給与)に対して発生する税金。規定の金額が引かれる。	住民税	住んでいる都道府県や市町村に納める税金。前年1年間の所得に応じて発生する。								

企業によっては、共済費や労働組合費、積立金、社宅の家賃なども控除されることがあります。多くの高校生は、近い将来、どこかに雇用されて働くこととなります。雇用先によって、労働条件などはさまざまです。雇用先を選ぶ際には、基本給や手当といったもらえるお金の仕組みや、加入保険などの情報をよく確認するようにしましょう。

新規学卒者の初任給の平均額は以下の通りです。これらの額から社会保険料や所得税などが天引きされます。住民税は2年目から引かれることも、覚えておきましょう。

新規学卒者の初任給（※1）

学歴	初任給（男女計）
高卒	16.74万円
高専・短大卒	18.39万円
大学卒	21.02万円
大学院（修士）卒	23.89万円

（令和元年「賃金構造基本統計調査」厚生労働省より作成）

※初任給は、6月分所定内給与額から通勤手当を除いたもの



解説3 家計の収支の見直し方

家計は、定期的に見直す必要があります。見直しの基になるのは家計簿のデータですが、実際にどのような費用にいくら使っているのか、把握している人は少ないものです。昨今は、キャッシュレスのデータを活用し、アプリなどで手軽に家計簿を付けることも可能になっている（P29コラム参照）ので、まずは毎月自分が何に、いくら使っているのか記録することから始めましょう。こうした記録を基に、以下の①～③を確認していきます。

- ① 月単位、年単位など一定期間で収支（収入と支出）の決算をする
- ② 現金と現金以外の両方のお金の流れを把握する
- ③ 貯蓄と負債の保有額を把握する

①の結果、収入に対して支出が多い場合や、③で思うように貯蓄が増えていない場合などには、家計の見直しをする必要があります。

費目	支出額	真由が考えたプラン
住居費	80,000	→ 70,000
水道光熱費	15,000	
通信費	15,000	→ 10,000
食費	40,000	
交通費	5,000	
被服費	15,000	→ 10,000
保健医療費	5,000	
日用雑貨費	5,000	
教養娯楽費	10,000	
奨学金の返済	20,000	
	0	→ 20,000
合計	210,000	

もう少し安いところに住んだほうが良いんだね
通信費も減らせるね。
食費は「ーらん」これはそのまま！
被服費はもう少し節約できるかな。



家計の見直しの方法

<1> 減らせる「流動費」がないか検討する

食費や交通費、被服費など、月によって金額が変動する費用を「流動費」といいます。意識して出費を抑えることができるものです。常に予算よりも多く使ってしまう場合には、予算の配分自体を見直します。

<2> 「固定費」が削減できないか検討する

住居費や保険料、通信費など、毎月の出費がほぼ変わらない費用を「固定費」といいます。家計の見直しというと、「流動費」に目が行きがちですが、「固定費」を削減すると、長期的に継続的に支出を減らすことができます。

<3> 「フロー」だけでなく「ストック」も確認する

家計の収支の「フロー」に対し、資産は「ストック」と呼ばれています。貯金などの「資産」からローンなどの「負債」を除いた「純資産」を確認します。

資産		負債		純資産
預け先	金額	借入先	金額	
○×銀行	円	奨学金	円	= 円
▲▲銀行	円	カードローン	円	
合計	円	合計	円	

若い世代は、「フロー」から少しずつ積み上げて、「ストック」を形成していく時期です。「フロー」に、多少の支出の上下があったとしても、「ストック」が着実に増えていけば、おおむね問題ないということになります。逆に「ストック」が減っていくようであれば、支出の見直しや収入を増やすことを検討する必要があります。

コラム

入力する手間が省ける…「家計簿アプリ」

キャッシュレス化によって得られたデータを活用した、入力する手間が省ける「家計簿アプリ」が人気を集めています。

「家計簿アプリ」は、パソコンやスマホなどにアプリケーションソフト(アプリ)をダウンロードし、電子マネーやクレジットカード、銀行口座などと連携させて利用します。アプリを提供している会社は入出金や残高といったデータを金融機関から取得し、食費や交通費などの費目ごとに支出を分類して、家計簿を自動的に作成します。レシートを読み取る機能を備えたアプリなら、現金などアプリと連携していない決済にも

対応できます。ほかにも、予算管理、家計診断などの機能を備えたもの、生命保険会社との連携もできるもの…など、「家計簿アプリ」を提供する会社は今、さまざまな機能を競っています。

「家計簿アプリ」の多くは、機能が制限された基本タイプであれば無料で利用できますが、お金の情報を扱うため、利用者が多く、信頼のできる提供会社のものを利用するとよいでしょう。また、アプリをダウンロードしたスマホなどの端末の紛失や、ID・パスワードの管理にも注意が必要です。

解説4 奨学金の種類と返還方法

奨学金は、学生本人に対して、学資金をサポートする制度です。奨学金は、原則として返す必要がない「給付型奨学金」と、返す必要がある「貸与型奨学金」に大別されます。また「貸与型奨学金」は、利息が付かないもの（無利子）と利息が付くもの（有利子）があります。一般的に、有利な奨学金ほど、学力基準や家計基準といった条件が厳しくなる傾向にあります。

日本学生支援機構の奨学金（※1）

（令和3年1月現在）

	給付型奨学金	貸与型奨学金	
		第一種奨学金	第二種奨学金
返還の有無	原則返還不要	無利子 卒業後に返還	有利子（在学中は無利子） 卒業後に返還
主な学力基準	申込み時までの高校等の成績の平均が5段階評価で3.5以上、または学修意欲を有する、など	申込み時までの高校等の成績の平均が5段階評価で3.5以上（状況により緩和基準あり）	申込み時までの高校等の成績が学校の平均水準以上であること、など
主な家計基準	住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯	4人世帯（※2）の場合の目安として、家計収入（年額）が747万円以下	4人世帯（※2）の場合の目安として、家計収入（年額）が1100万円以下

※1 日本学生支援機構のホームページより作成。詳しくは同ホームページを参照

※2 本人、両親、中学生の世帯の場合

奨学金制度は、日本学生支援機構だけでなく、地方公共団体、育英団体、各学校などの団体でも行っています。また、入学金や授業料などの学費の一部または全額が免除される「授業料等減免制度」という形でサポートを行う学校などもあります。「授業料等減免制度」は、入学試験の成績優秀者を対象とするものや、経済的困窮者を対象とするものなどさまざまなので、事前によく調べておくことが大切です。奨学金や授業料減免などの制度は、日本学生支援機構のHPで検索することができます。

日本学生支援機構HP「大学・地方公共団体等が行う奨学金制度」

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku_dantaiseido/index.html



教育ローンとの違い

進学するための資金が足りない場合、奨学金や授業料等減免制度のほかに、「教育ローン」を利用する方法もあります。教育ローンは、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」のほか、各金融機関の教育ローンがあります。

奨学金と教育ローンの一番の違いは、貸し付けの対象が学生本人か保護者かという点にあります。奨学金は学生本人への貸し付けであるため、在学中の利息や返済が猶予されます。しかし、教育ローンは保護者が借りることから、貸し付け後すぐに利息が発生し、借りた翌月（または翌々月）から返済が始まります。また、奨学金は学生への支援であるため、在学中に月々いくら…という形で振り込まれます。これに対し、教育ローンは一括で支払われます。

貸与型奨学金（日本学生支援機構の場合）と教育ローンの違い

（令和3年1月現在）

	貸与型奨学金 （日本学生支援機構）	国の教育ローン	銀行等の教育ローン
借りる人	学生本人	保護者等	
基準	保護者の収入が 一定額以下	幅広い世帯年収に対応 （家庭の状況による優遇 あり）	一般的に保護者の収入 が一定額以上など
お金の支払われ方	在学中に毎月振り込まれる	一括で支払われる	
申請手続き	事前に申込みをする必要 があり、申請者全員が貸 与を受けられないことも	借入れまでの期間が短く、比較的手続きが簡単	
返済開始時期	卒業後	借りた翌月、または翌々 月から（在学中は利息の みの返済も可能）	基本的に借りた翌月か ら（在学中は利息のみの 返済が可能なものも）
利息	無利子または有利子 （在学中は無利子）	貸し付け翌日から 利息が発生	貸し付け翌日から 利息が発生
金利	有利子の場合でも 金利が低い	奨学金より金利が高い	国の教育ローンより金利 は高め

（日本学生支援機構のホームページをもとに作成。詳しくは同ホームページを参照）

返済をシミュレーションしてみよう

奨学金などを借りる場合には、事前にシミュレーションしておくといいでしょう。



日本学生支援機構HP ①「進学資金シミュレーター」（学生生活費シミュレーション・奨学金シミュレーション）

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

②「奨学金貸与・返還シミュレーション」

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

日本政策金融公庫 「国の教育ローン用返済シミュレーション」

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/ippan/sim.html>

コラム

約半数の学生が利用する「奨学金」の返済問題

独立行政法人 日本学生支援機構の「平成30年度学生生活調査」によると、大学（昼間部）の学生の47.5%が、何かしらの奨学金を受給しています。

貸与型の奨学金の場合、学生本人に返還義務が生じます。同機構の調査では3カ月以上滞納している人のうち、貸与終了後に返還義務を知った人は20.1%にも上り、その半数以上の11.5%は延滞督促を受けてから知ったと答えています。返還の延滞が続くと、通常のローンと同様に指定信用情報機関に記録されるため、

貸与型の奨学金も「借りている」という意識を持たせることはとても重要です。

なお同機構では、減額返還制度や返還期限猶予制度などの救済制度を用意しています。返還に困った際には、そのままにせず奨学金相談センターに相談することも教えておきたいものです。

日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話：0570-666-301（ナビダイヤル）

解説5 リスク管理をしよう

人生の中では、病気や事故、災害、失業、死亡…などさまざまな不測の事態に遭遇することがあります。このような時に想定される経済的な損失などに対応するため、あらかじめリスク管理(リスクマネジメント)を考えておくことも必要です。

リスクに備えるための保障は、大きく分けて3つの枠組みがあります。「公的保障」は公的年金や公的医療保険等、国などによるものです。「企業保障」は死亡退職金等、勤めている会社によるものです。そして「私的保障」は自分で加入する保険や共済、預貯金などです。

公的保障・企業保障・私的保障の枠組み

主なリスク	公的保障	企業保障	私的保障
死亡	公的年金保険 (遺族基礎年金 遺族厚生年金等)	死亡退職金、弔慰金 遺族年金制度 など	定期保険、養老保険 終身保険 など
医療	公的医療保険等 など	法定外労働災害 補償 など	医療保険、傷害保険 預貯金 など
介護	公的介護保険等 など	介護・看護 休職制度 など	介護保険、 預貯金 など
老後	公的年金保険 (老齢基礎年金、老齢厚生年金等)	退職一時金、 企業年金 など	個人年金保険、 預貯金 など
住宅火災 自然災害	災害弔慰金、 災害援助金の貸付 など	災害見舞金 など	火災保険、 地震保険 など
損害賠償責任			自賠償保険、 自動車保険 など
その他			車両保険 など

(「生活設計とリスク管理」公益財団法人 生命保険文化センターを参考に作成)

公的保障とは

公的保障の柱は、国などによる「社会保険」です。国民が病気やケガ、障害、出産、老齢、死亡、失業などのリスクに遭った時に備え、さまざまな給付制度があります。「社会保険」は、大きく分けると5つに分類されます。

社会保険

日本の社会保障制度には、「社会保険」のほかに、「社会福祉」「公的扶助」「公衆衛生」があります。「社会保険」は、保険料と公費(租税)で賄われ、そのほかは公費(租税)が主な財源になります。

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------------|
| 1.公的年金保険(国民年金など) | → | 老後・障害状態時・遺族の生活費など |
| 2.公的医療保険(健康保険など) | → | 病気やケガにかかる治療費 |
| 3.公的介護保険 ^(注1) | → | 介護サービス(訪問介護など)費用 |
| 4.労働者災害補償保険 ^(注2) | → | 仕事中のケガ等の治療費 |
| 5.雇用保険 | → | 失業時の生活費 |

は、会社員の場合は給与天引きで保険料を納付

(注1)40歳から64歳まで健康保険料とあわせて介護保険料を納付。
65歳以上は、年金支給額により納付方法が異なる

(注2)労働者災害補償保険の保険料は、全額事業者負担

(厚生労働省「社会保障を教える際に重点とすべき学習項目」の具体的内容を参考に作成)

P27の給与明細の中で、給与からあらかじめ差し引かれていた社会保険料は、こうした保障を受けるために納付しているというわけです。

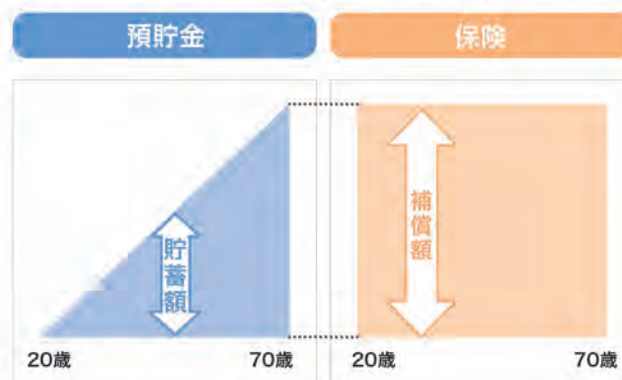
私的保障とは

「公的保障」だけでは不十分であることや、雇用形態が多様化し「企業保障」がない場合もあることなどから、今日では「私的保障」の充実が求められています。

「私的保障」には、預貯金と民間保険があり、どちらもリスクに備えることができるものです。預貯金の場合、少しずつ貯めていくため、いざという時に十分な貯蓄額に達していない可能性もありますが、ほかに必要なことがあった際に流用することが可能です。一方、民間保険は、いざという時がいつ来ても、あらかじめ決まった保障額を受け取ることができ、貯金では賄いきれない額にも備えることができます。しかし、基本的に貯金のように自由にお金を引き出すことはできません。



私的保障における「預貯金」と「保険」の違い



(「ほけんのキホン」公益財団法人生命保険文化センターを参考に作成)

いろいろな保険

民間保険は、その対象によって大きく3つに分類されます。生命保険(第一分野)は人の生死に関し、一定の金額を受け取れる保険で、主に生命保険会社で購入するものです。損害保険(第二分野)は事故などによって生じる損害に応じた金額を受け取れる保険で、主に損害保険会社で取り扱っています。また、病気やケガ、要介護状態などの場合に受け取れる保険(第三分野)は、生命保険会社、損害保険会社ともに扱っています。

こうした保険は、公的保障などで、どこまで賄われるのかも含めて検証し、必要に応じて加入するようにします。例えば、家計を支えていないのであれば、死亡保障はそれほど必要ではないかもしれません。逆に、自分の収入で子供を養育する必要が出てきたら、死亡保障を充実させる必要があります。このように、保険はその時の状況を考慮して加入し、結婚、出産、退職…など人生の節目で見直すことも大切です。

コラム

自転車保険に加入しましょう!

自転車は、対自動車には交通弱者ですが、歩行者にとっては交通強者です。事故を起こさないよう交通ルールを遵守し、定期的に点検を行なっても、思わぬ事故によって誰もが加害者になる可能性があります。

東京都では、令和2年4月から、自転車利用者(未成年の場合はその保護者)に対して、自転車利用中の事故により、他人に怪我をさせた場合等の損害を賠償できる保険等への加入を義務付けています。保険は、自転車専用のもの以外にも、自動車保険、火災保険、傷害保険等の特約として、個人賠償責任保険(※)が付帯されている場合もあります。

万一に備え、自分や家族の保険の加入状況、補償範囲を確認しておくことが必要です。

なお、自転車の点検整備を怠ると、利用者が危険だけでなく、歩行者など周りの人も巻き込む事故につながりかねません。自転車の安全な利用には、日頃の点検整備と、年に1回程度の自転車店等での点検整備を行うことが重要です。

※個人賠償責任保険…個人又は同居の家族が、日常生活で誤って他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして、法律上の損害賠償責任を負担した場合の損害を補償する保険。

ワークシートを使用した学習指導案

題目 家計管理

目標

- ・収入と支出のバランスの重要性を理解する。
- ・生涯を見通した経済計画の立て方を理解する。
- ・リスク管理について理解する。

単元 C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材
導入 5分	前時の学習を振り返り、本時のねらいを確認する。	収支バランスを取りながら、生涯を見通した経済計画を立てる際の大切さを示す。	[DVD] オープニング
展開 1 15分	<p>CHAPTER①「ミニドラマ」を視聴し、収支バランスのコントロールの重要性を意識させる。</p> <p>ワークシート【1】を記入し、自らの消費生活を振り返る。</p>	計画的にお金を配分することによって、貯蓄が可能であることを意識させる。	<p>[DVD] 第3章 CHAPTER①「ミニドラマ」</p> <p>[ワークシート]</p>
展開 2 25分	CHAPTER②「解説」を視聴し、家計収支のバランスの取り方とリスク管理の概要を理解する。	フリップの解説を聞き、理解を深めさせる。	<p>[DVD] 第3章 CHAPTER②「解説」</p> <p>[ワークシート]</p>
	フリップ「収入と支出の構成」の解説を聞き、ワークシート【2】を完成させる。	支出と収入の構造を理解させる。	
	フリップ「25歳の真由の給与明細」の解説を聞き、ワークシート【3】を完成させる。	給与明細例を見て、構成内容と金額の意味を理解させる。	
	フリップ「25歳の真由の1ヶ月間の支出」の解説を聞き、ワークシート【4】を完成させる。	支出項目の具体例と、お金の配分方法を理解させた上で、自らの価値観を基にした1ヶ月の支出のやりくりをシミュレーションさせる。	
	フリップ「リスクへの備え」の解説を聞き、ワークシート【5】を完成させる。	リスク管理の方法と、アクシデントに遭った場合の対応方法を理解させる。	
まとめ 5分	CHAPTER③「まとめ」を視聴し、ワークシート【6】を完成させる。	家計管理のポイントを理解させる。	[DVD] 第3章 CHAPTER③「まとめ」 [ワークシート]

ワークシート「家計管理」

年 組 名前

【1】私たちの消費生活

自分の経済生活を振り返ってみましょう。

1	お小遣い帳などで、収支を記録・管理している。	YES	NO
2	今、財布に入っている金額が分かる。	YES	NO
3	貯金をしている。	YES	NO
4	欲しい物がある時は、お金を貯めてから買う。	YES	NO
5	欲しい物を買う時は、事前に価格や条件を調べる。	YES	NO
6	本当に必要な物かどうか、よく考えてから買い物をする。	YES	NO
7	自分の携帯電話の月々の料金を知っている。	YES	NO
8	自分の学費や部活動に掛かる費用を知っている。	YES	NO

【2】収入と支出の構成

() に当てはまる語句を入れましょう。



【3】給与明細の見方

① 次の給与支給明細書の例を見て差引支給額(手取り額)を計算しましょう。

△△株式会社 給与支給明細書 20XX年〇月分

基本給	228,000	残業手当	0	通勤手当	12,500	6ヶ月分前払	0	退職手当	10,000	預金	20,500	差引支給額	271,000
賞与	820	健康保険料	11,580	厚生年金保険料	24,190	介護保険料	0	所得税	5,560	住民税	13,850	組合費	2,000
合計	238,820	社会保険料	39,250	その他	0	前払	0	控除	29,510	合計	61,810	差引支給額	271,000

② 給与明細の金額を、【2】の「収入と支出の構成」にあてはめ時の金額を計算しましょう。

実収入は?	271,000 円	非消費支出は?	61,000 円	可処分所得は?	210,000 円	2万円貯蓄した時の消費支出は?	190,000 円
-------	-----------	---------	----------	---------	-----------	-----------------	-----------

【4】1ヶ月間の支出

自分のライフスタイルに合わせてお金を配分し、手取り額21万円を1ヶ月間のやりくりをしましょう。

で買ったものの買目は、下の価格目安を見てA~Cのランクを選び、金額を記入しましょう。

NO.	費目	内訳	ランク	支出額
1	住居費	賃貸住宅の家賃	C	60,000 円
2	水道光熱費	電気代、ガス代、水道代		15,000 円
3	通信費	スマホ、インターネット通信料	C	2,000 円
4	食費	外食費含む	B	40,000 円
5	交通費	通勤費以外の交通費		5,000 円
6	被服費	雑貨も含む	A	10,000 円
7	保健医療費	病院、薬など		5,000 円
8	日用雑貨費	日用品、消耗品など		5,000 円
9	教養娯楽費	趣味、遊藝費、習いごとなど	A	20,000 円
10	奨学金の返済			20,000 円
11	貯蓄			20,000 円
12	ゲームソフト代	←好きな費目を入れましょう!		8,000 円
合計				210,000 円

No.1 住居費: Aランク...1LDK 80,000円, Bランク...1DK 70,000円, Cランク...1K 60,000円

No.9 教養娯楽費: Aランク...多め 20,000円, Bランク...普通 10,000円, Cランク...節約 5,000円

No.12 ゲームソフト代: Aランク...使い放題 8,000円, Bランク...普通プラン 5,000円, Cランク...格安プラン 2,000円

ランクを高くした買目は何? 洋服と趣味にお金を掛けたいから。

ランクを低くした買目は何? 住居費、通信費

どうして? どうして?

【5】リスクへの備え

アクシデント発生!

① 10年後、社会人になったあなたは、突然の事故に遭いました。入院費10万円を準備する方法として何が考えられますか。

② () に当てはまる語句を入れましょう。

発生しうるリスクを予想し、それに備えることを (リスク管理) と言います。(リスク管理) は、(公的保障) と (私的保障) があります。(貯蓄) は私的保障の一つです。

・貯金から支払う。
・加入している保険の、保険金を請求する。

【6】家計管理のポイント

- 1) (支出と収入) のバランスを取る。
- 2) 実現したい (人生プラン) に向けて (資金) を準備する。
- 3) 万が一の (リスク) に対する備えをする。